

株式会社スクウェア・エニックス

認証や課金のための共通インフラに高品質なサポートサービスを追加。システム停止のリスクを軽減し、ゲーム利用者に安心感を提供

「他社のサポート内容も悪くはなかったのですが、オラクルが提供するMySQLのサポート品質は群を抜いていました。ミッションクリティカルなシステムの運用には、サポートの品質がすべてであり、MySQL Standard Editionを利用することを強くお勧めします」—株式会社スクウェア・エニックス 情報システム部 ITインフラストラクチャー ソーシャルゲーム・グループリーダー／テクニカル・スペシャリスト 早川智氏

株式会社スクウェア・エニックスは、エンタテインメント分野において、創造的かつ革新的なコンテンツ／サービスのヒット作品を生み続けるリーディングカンパニーです。当社グループの自社IPの代表作には「ドラゴンクエスト」シリーズ（パッケージゲーム累計出荷本数6,600万本以上）、「ファイナルファンタジー」シリーズ（同1億1000万本以上）、「トゥームレイダー」シリーズ（同4,500万本以上）、「スペースインベーダー」シリーズなどがあります。

課題

- 認証や課金のための共通インフラのよりいっそうの安定稼働はもちろん、もし故障や障害が発生しても短時間で復旧するためのサポート体制を確立する
- 故障や障害の原因を調査する作業に多くの時間と労力を費やしていたが、時間短縮と負荷軽減を目的にチーム内にナレッジやノウハウを蓄積する
- 将来的に発生する可能性のある故障や障害のリスクを軽減することで、利用者に安心感を提供するとともに、ビジネス機会の損失を防ぐ

導入効果

- 事象が極めて稀な問題において、自社で調査するとソース解析や再現確認等で半日以上かかる問題解決も、日本オラクルのサポートを利用することで、数時間での対応が可能になった
- 問い合わせに対し、具体的な回答を迅速に得ることができるので、ノウハウの蓄積やスキルの向上に大きく寄与することになった
- インターネットで調査しても、真偽を確かめるために検証の時間が必要だが、日本オラクルのサポートを利用することで正確な対処法を一度の問い合わせで得ることができ、調査時間の短縮と作業負荷の軽減につながった

- 当初は月に1～2回程度の利用で十分だと考えていたが、問い合わせ回数の制限がないので気軽に活用でき、便利になった

オラクル選定理由

「どこまでサポートしてもらえるのが最大のポイントでしたが、複数社のサポート内容を比較検討したところ、オラクルが提供するMySQLのサポートはレベルが高く、チーム全員の意見が一致してすぐに採用が決まりました。」—株式会社スクウェア・エニックス 情報システム部 ITインフラストラクチャー ソーシャルゲーム・グループリーダー／テクニカル・スペシャリスト 早川智氏

導入プロセス

2015年5月より、MySQLのサポートサービスを提供しているいくつかの企業のサービス内容の比較検討を実施。2015年11月初旬に日本オラクルのMySQL Standard Editionを採用することを決定し、12月よりオンラインゲームの認証や課金のための共通インフラに対する「MySQL テクニカル・サポート」及び「MySQL コンサルティング・サポート」の提供が開始されている。

オラクル製品とサービス

- MySQL Standard Edition

(本事例は2016年2月のものです。)



株式会社スクウェア・エニックス
情報システム部
ITインフラストラクチャー
ソーシャルゲーム・グループリーダー／
テクニカル・スペシャリスト
早川 智氏

Oracle Customer

SQUARE ENIX®

株式会社スクウェア・エニックス

- URL : www.jp.square-enix.com
- 業種 : Media and Entertainment
- 年間売上 : 102,873百万円 (2017年3月期)